

Re:綾川 総力特集！！～学校等再編～

・学校等再編について

綾川町議会では耐震工事等の予算の決議はされていますが、学校再編そのものの議決はこれまで一度もなされていません。

・幼保一元化について

現在、綾川町で計画されているのは、粉所幼稚園の山田保育所への統合となり、幼保一元化、幼保一体化、認定こども園などのスタイルとは、根本的に異なる形となります。また、現在のところ、送り迎え、料金、入所条件等は、全て現行の保育所と同じままになり、教育水準のみを幼稚園相当とする案となっています。以上のように町執行部が幼保一元化を主張している理由は、過去に綾南町においては、滝宮幼稚園を統合（実際は休園）したことにより、すでに幼保一元化は完了しているという見地に立っているようです。

私が考える問題点

- ・統廃合後の議論が全くされていない。方針、手法も未定。
- ・統合後の学校、保育所はほぼ間違いなく定員オーバーになり、改築、建替え、建て増しになるようであるが、他の先進施設の視察や、基礎設計、現地調査の上で現場の声を取り入れた設計などは、何もなされておらず、現実的な問題として、下に紹介する学校等再編の答申案どおりの日程で進めると、今後、現場の声が反映されたとは言えない形になる可能性が非常に高くなる。特に二年後の保育所の統廃合は期間的にかなり難しい。
- ・現有施設の活用や、人口対策など、十分な行政側の努力が感じられない。
- ・現段階で臨時職員の率が高く、特に保育所などは正規職員が半分もない状態。これを改善するための統合とのこと。しかしながら、将来における検討課題ということで、現在のところ正規職員増員の具体的計画はありません。
- ・住民に対する説明や、意見収集が行われていない中、決定事項のように答申案を説明していた事実。今回の協議会の中でも、多数の説明不足の意見があり、今後住民は、町の動向を注視する必要があります。

私の方針

現段階での説明できない、あいまいな根拠に基づく答申案を元にした執行部案に賛同はできません。つまり、今の状況では、学校等再編整備に反対します。

8月4日に議会全体で、この問題に関して協議会が行われました。統合を進めるにせよ、停止するにせよ、納得のいく情報公開と、その情報に基づく結論が求められると考えています。町執行部の返答を待っている状況ですので、関心のある住民の皆様は、ぜひ、お声を聞かせてください。

学校等再編整備の答申案全文

本検討委員会は、平成21年8月3日に町長より、(1)綾川町立保育所、幼稚園、小学校、中学校の適正配置及び適正規模について、(2)綾川町立保育所、幼稚園、小学校、中学校の再編整備についての諮問をうけ、1回の現地視察、6回の検討委員会を開催し、委員20名により慎重に審議を行った。その際、本町の急速に進展する少子高齢化の実態に基づき、各種団体の意見も参考にしつつ、幼児、児童生徒の個性や能力の伸長、安全・安心の確保等よりよい保育所、幼稚園、小学校、中学校のあり方に加え、地域文化の継承、住民福祉、国・県の施策の動向、町の財政状況、地域の実情や民意を踏まえ審議した。その結果、綾川町「教育の町宣言」に相応しい将来像を描くために、綾川町の10年～15年先を見据えた中期的な展望に立った教育環境の創出について意見を集約したので、次のとおり答申します。

保育所、幼稚園

- 1 昭和北保育所、昭和南保育所を平成24年度までに統合する。
- 2 綾上地域の幼保一元化を図り、粉所幼稚園、山田保育所、西分保育所、羽床上保育所を平成24年度までに段階的に統合する。
- 3 羽床保育所の再編整備を検討する。

小学校

- 1 羽床小学校を平成26年度までに統合する。
- 2 羽床小学校を除く4小学校の再編整備を検討する。

中学校

- 1 綾上中学校を綾南中学校に平成29年度までに統合する。
- 2 綾上中学校は、耐震補強・大規模改造を行い、綾南中学校は、統合を見据えた改築を行なう。